



議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では19人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細は富士市ウェブサイト上の本会議の議会中継（録画配信）や2月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。
会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館で御覧になれます。

さの 佐野 ちあき 智昭	1. 空き家等に関する対策のさらなる充実・強化について
もちづき 望月 とおる 徹	1. 安全・安心の山砂利対策を
すぎやま 杉山 さとし 諭	1. 市内小中学校の特別教室と給食室等へのエアコン設置について 2. 市内小中学校のトイレの現状と改善計画について
こいけ 小池 としあき 智明	1. 小長井市政2期8年の自己検証と3期目に目指そうとする取組について
おの ゆみ こ 小野由美子	1. スケートボードを富士市で安心して楽しめる場所の確保と若者の新しいチャレンジスポーツを応援する気概について
ふじた 藤田 てつ や 哲哉	1. 防災意識向上を目指し「防災かぞく手帳」の利用について 2. シティプロモーション型保全と指定管理の在り方について
たかはし 高橋 まさのり 正典	1. 本市の通学路の再点検及び整備について
しもだ 下田 よしひで 良秀	1. 富士市デジタル変革宣言をした中でのICT産業の育成・誘致とプログラミング教育を含む情報教育について
おおた 太田 やすひこ 康彦	1. GIGAスクール構想 実現への取組と今後の課題について
いのうえ 井上 たもつ 保	1. 森林経営管理法施行後の富士市の林業政策について
おぎた 荻田 たけひと 文仁	1. 市長が目指す文化行政の在り方について
はぎの 萩野 もとゆき 基行	1. 国直轄事業の道路等整備促進について
いで 井出 はるみ 晴美	1. 衛星画像の解析による水道管の漏水調査について 2. 富士市SDGs未来都市計画の進捗状況について
すずき 鈴木 こうじ 幸司	1. 残土と汚泥の違いについての見解を伺い、違法盛土の水際作戦を提案する 2. 「自転車に乗ることが楽しくて 笑顔になるまち ふじ」富士市自転車活用推進計画について
かわくぼ 川窪 よしお 吉男	1. 富士市立中央病院に高気圧酸素治療装置（HBO）の導入について
おざわ 小沢 えいこ 映子	1. 「ひきこもり白書2021」から見えるひきこもり支援について
やました 山下 いづみ	1. 国勢調査で使用した調査用品の取扱いについて 2. 富士ジュニアオーケストラを民間ボランティア運営から公営にしたいかがか
こいけ 小池 よしはる 義治	1. NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で注目される鎌倉時代初期の史跡について 2. 富士駅北口に建設予定の公益施設を3階建てにする必要性はあるか
ささかわ 笹川 あさこ 朝子	1. 学校・公共施設の子供トイレ（個室）に生理用品を常備することについて

ユニバーサル就労推進特別委員会の中間報告

令和3年11月8日 ユニバーサル就労推進基本計画（案）についてを議題として開催。

●障害者を含む全ての方に新たな就労機会の創出を

問 ユニバーサル農業事業について、就労機会の確保と工賃アップを目的に取り組むとのことですが、この事業による収入だけで自立することは可能と考えていますか。

答 本事業による就労だけで自立することは難しいと考えますが、既存の障害者就労施設等での就労だけでなく、他の収入も得られるよう、就労機会の創出を目指し、支援に努めていきます。

●富士市地域産業支援センターとの連携を明確に

問 産業政策課所管の富士市地域産業支援センターでは、業務分解を積極的に支援するとのことなので、「業務分解の支援」の取組に、センターとの連携を明記するなどしてはいかがでしょうか。

答 富士市デジタル変革宣言に基づき、新たに加えたテレワークを活用した短時間就労や、ワーキングスペースの利用促進についても、富士市地域産業支援センター等との連携が必要なもので、そのことが分かるよう、記載の仕方を検討していきます。

国・県への意見書の提出

市議会では、意見書を関係行政機関に提出することができます。11月定例会では、議員発議による下記2件の意見書に対し、起立採決を行った結果、賛成者多数により可決し、内閣総理大臣等に提出しました。

富士川の生態系等に関する詳細な調査と河川環境の改善を求める意見書（国）

富士川は日本三大急流の一つに数えられ、悠久の昔から現在まで流域の人々の生活を潤してきた。

下流域の富士市でも富士山に水源を発する潤井川とともに富士市民の生活に大きく関わっている。

富士川は駿河湾に栄養を運び続け、尺アユが釣れる川として全国的に有名だが、10年ほど前から尺アユどころかアユがほとんど釣れず、駿河湾の富士川河口周辺では全く魚の釣れない状態である。

さらに「サクラエビ再生のための専門家による研究会」等の報告により、サクラエビ不漁の原因に富士川の汚染が関わっている可能性が指摘されている。

山梨県が行った調査では富士川水系雨畑川に不法投棄された凝集剤の混入した汚泥が10年以上にわたって富士川に流出していたことも明らかになり、この凝集剤には魚毒性のあるものや、変異すると人体に有害となるものがあることも分かった。

この汚泥は、下流域から河口にかけて広く堆積し、市民生活に影響を与える可能性も拭えない。

また「たかはし河川生物調査事務所」が平成27年に行った調査では「これほど魚の少ない川は記憶にない」と報告されている。

富士川の水量が昔と比べて極端に少なくなったと感じる住民も多く、山梨県内の発電所等で取水される水量を減らし、富士川に戻すよう、近隣自治体からの要望も出されている。

よって、国においては、一刻も早く調査・対策を行い、かつての富士川、駿河湾に戻るよう、下記のとおり要望する。

記

1. 富士川に流出したことが明らかになった全ての凝集剤につき、国として一刻も早く人体や生態系への影響を詳細に調査し、安全対策（汚泥の除去命令等）を取ることを。
2. 静岡県と山梨県、富士市が行う調査、対策に対し支援すること。
3. 富士川の水量と山梨県の波木井発電所等で取水する水量とのバランスについて調査し、富士川に水を戻す等、対策すること。
4. 山梨県内で取水される富士川の水利権更新時には静岡県にも意見聴取すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月2日

富士市議会

富士川の生態系等に関する詳細な調査と河川環境の改善を求める意見書（県）

富士川は日本三大急流の一つに数えられ、悠久の昔から現在まで流域の人々の生活を潤してきた。

下流域の富士市でも富士山に水源を発する潤井川とともに富士市民の生活に大きく関わっている。

富士川は駿河湾に栄養を運び続け、尺アユが釣れる川として全国的に有名だが、10年ほど前から尺アユどころかアユがほとんど釣れず、駿河湾の富士川河口周辺では全く魚の釣れない状態である。

さらに「サクラエビ再生のための専門家による研究会」等の報告により、サクラエビ不漁の原因に富士川の汚染が関わっている可能性が指摘されている。

山梨県が行った調査では富士川水系雨畑川に不法投棄された凝集剤の混入した汚泥が10年以上にわたって富士川に流出していたことも明らかになり、この凝集剤には魚毒性のあるものや、変異すると人体に有害となるものがあることも分かった。

この汚泥は、下流域から河口にかけて広く堆積し、市民生活に影響を与える可能性も拭えない。

また「たかはし河川生物調査事務所」が平成27年に行った調査では「これほど魚の少ない川は記憶にない」と報告されている。

富士川の水量が昔と比べて極端に少なくなったと感じる住民も多く、山梨県内の発電所等で取水される水量を減らし、富士川に戻すよう、近隣自治体からの要望も出されている。

よって、県においては、一刻も早く調査・対策を行い、かつての富士川、駿河湾に戻るよう、下記のとおり要望する。

記

1. 富士川に流出したことが明らかになった全ての凝集剤につき、一刻も早く人体や生態系への影響を詳細に調査し、安全対策（汚泥の除去命令等）を取ることを。
2. 富士市が行う調査、対策に対し支援すること。
3. 富士川の水量と山梨県の波木井発電所等で取水する水量とのバランスについて調査し、富士川に水を戻す等、対策すること。
4. 山梨県内で取水される富士川の水利権更新時には静岡県にも意見聴取するよう国に申し入れること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月2日

富士市議会